

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 白山会

目 次

- 1 施設概要
- 2 施設理念・基本方針・事業目標
- 3 令和4年度法人報告
- 4 理事会・評議員会
- 5 会議・委員会活動報告
- 6 消防訓練について
- 7 年間行事報告
- 8 施設内研修
- 9 施設外研修
- 10 ボランティア報告
- 11 今年度の振り返り
- 12 その他(食事提供について)

施設概要

1 施設の名称及び種別	特別養護老人ホーム星久喜白山荘 指定介護老人福祉施設
2 所在地	〒260-0808 千葉市中央区星久喜町152番地2 TEL:043-209-1500 FAX:043-209-2200
3 営 主 体	社会福祉法人
4 事 業 開 始	平成21年4月1日
5 管 理 者	中尾 幸子
6 定 員	50名
7 協 力 病 院	千葉中央メディカル 柏戸病院 千葉南病院
8 施 設 の 規 模	(1)敷地面積:1,771㎡ (2)延床面積:2,472㎡

施設理念

「安心」「安全」「健やか」の理念

星久喜白山荘は、ご利用者様との信頼関係を築きあげるとともに、ご利用者様にとって安全な環境と安全な身体介助を提供し、心身ともに健やかで安心した日常生活が送れるように援助し、介護支援をいたします。

基本理念

- 1 ご利用者様を人生の先輩として敬い、ご利用者様の立場に立ち、ご利用者の人格を尊重します
- 2 ユニットケアを実践し、個別対応を大切にいたします
- 3 介護現場に携わる専門職として意識を持って関わります

運営の基本方針および事業目標

施設を取り巻く環境がより一層厳しいものとなり、今後施設運営にあたって効率的で効果的な運営を目指す事が要求されていく中で、真にサービスを必要としている人々に対してその方がその人らしく安心して生活をしていただけるよう、職員一人一人がご利用者様のニーズを丁寧に確認し、その方の生活全体を支えると言う視点から人間性や尊厳性、その思いを組み込んだケアプランを作成するとともに、これからを実現できる体制として各専門職の連携を強化したサービス低異教体制を構築していく。

令和4年度法人全体報告

感染症対策について

昨年同様、施設内外での感染症対策を強化した一年でした。
それに伴い、面会制限がありご家族様には大変ご心配とご迷惑をお掛けしました。
施設内でクラスターの発生もなく、感染症で職員が不足することはありませんでした。
少しずつ面会制限も緩和しており、まだまだ通常には戻りませんが、引き続き感染症対策をしっかり行い、
感染症予防研修や体調管理を個々にしっかり行っていきます。

- ・看護師による感染症研修の実施、指導
- ・手洗い、うがい、マスク着用や体温測定の励行

人材育成について

今年度は、リーダークラスの育成を集中的に取り組みました。アセッサー講習修了者によるOJTを計画し、
フロアリーダー ⇒ ユニットリーダー ⇒ ユニット職員と段階的に「排泄」「食事」「入浴」「服薬」「医療的ケア」
「医療的処置」の十分な技術と知識を再確認させ、より一層の資質向上を目指しました。
医療的な事は、看護師が介入し、キャリアアップを試みました。一度だけではなく、繰り返し実施する事で、確かな物
となり、入居者様へ安心と安全をお届けすることができるとしております。次年度も引き続き計画的に実施していく
予定です。

特定処遇改善加算(手当)について

- 処遇改善加算 ⇒ 毎月決められた手当・夏季冬季年末年始特別手当・昇給等
- 特定処遇改善加算 ⇒ 手当の支給対象者は、法人の決定した職務に従事する正規職員及びパートタイマー
支給額は当該加算に係る計画の内容などを勘案した上で都度決定する。
支給の方法は年度末に一括支給とします。

・支給要件

グループ1: 当施設キャリアパス要件の「監督職」以上のものとする。ユニット統括及び管理・活動の把握・部下の
育成・目標管理等しっかり行っている介護職員、また、リーダーでなはいが介護福祉士の資格があり、
育成やサポートに優れている者。

グループ2: 上記以外の介護職員

グループ3: その他の職員(相談員・事務員・管理栄養士・看護師・庶務・調理師)

- ベースアップ等支援金

支給対象者は、介護士・看護師・その他の職員
毎月決められた手当「支援補助金」として支給。

採用について

パート 2人採用 (介護職)

正職員 派遣から正職員へ1人採用 (介護職)

令和4年度理事会・評議員会開催状況

理事会

開催日	議案
R4.6.4	①定時評議員会開催の日時決定 ②福祉医療機構への借入申し込みの件 ③理事長の職務執行状況の報告
R4.6.15	①令和3年度決算承認の件 ②令和3年度事業報告の件 ③理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
R4.10.20	①寄附受入れの件 ②補正予算の件 ③理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
R5.3.10	①補正予算の件 ②令和5年度予算案承認の件 ③令和5年度事業計画の件 ④評議員会招集の件 ⑤理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告

評議員会

開催日	議案
R4.6.25	①令和3年度決算報告承認の件 ②令和4年度事業計画の件 ③理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告
R5.3.25	①令和4年度補正予算について ②令和5年度事業計画について ③令和5年度予算案について ④理事長及び業務執行理事の職務執行状況の報告

令和4年度・各会議と委員会活動報告

会議・委員会名	開催	構 成 人 員 等
安心安全委員会	毎月7日	理事長・施設長・介護統括・生活相談員・看護主任・介護主任・フロアリーダー・管理栄養士
リーダー会議	毎月7日	施設長・介護統括・生活相談員・看護主任・介護主任・フロアリーダー・管理栄養士 各ユニットリーダー
フロア会議	月1回	施設長・フロア全体の職員・介護主任・生活相談員
ユニット会議	月1回	施設長・ユニットの職員・介護主任・生活相談員
事故対策会議	都度	施設長・介護統括・生活相談員・介護主任・ユニット職員他
資質向上委員会	月1回	介護職員のスキルアップを図るため、外部・内部の講師をたて研修を行う
振り返り		リーダー会議に関しては、議長を月替わりでする事により、一人一人が向上心を持ち、自ら発言する場を提供できました。 今まで以上に、施設内全体を把握し、共有することにより、入居者様に安心安全な生活を提供できたと思います。

【資質向上委員会】	内 容	担 当
第1回	感染症予防対策研修(感染対策シュミレーション)	看 護 師
第2回	感染症予防対策研修(感染対策シュミレーション)	看 護 師
第3回	負担の少ない介助方法	
第4回	終末期の高齢者の口腔ケアで大切なポイント	口 腔 委 員 会
第5回	口腔ケアとは	口 腔 委 員 会
第6回	消防管理者による防災講習	防 火 管 理 者
第7回	介護保険制度の概要	生 活 相 談 員
第8回	BCP業務継続計画とは	防 火 管 理 者
第9回	服薬事故を出さないためのマニュアルの徹底	事 故 防 止 委 員 会
第10回	感染症 インフルエンザについて	看 護 師
第11回	介護事故の現状	事 故 防 止 委 員 会
第12回	スキントラブルの予防方法	排 泄 ・ 入 浴 委 員 会
	災害時の一人一人の防災対策	防 火 管 理 者

☆処遇改善加算に伴う、資質向上委員会ですが毎月1回行いました。

職員全員を対象に介護力向上にむけて、施設内研修に取り組みました。

令和4年度委員会活動報告

給食委員会		
日時	議題	内容
月1回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・入居者様の対応について 	<ul style="list-style-type: none"> ・各月の行事食について ・入居者様の、食形態や食事の置き置き等
入浴委員会		
日時	議題	内容
年4回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴委員としての活動内容 ・入浴方法等の具体的マニュアル作成 ・浴槽管理について 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標である「安全安心の提供」について、安全対策など職員への再確認 ・研修について ・簡易マニュアル作成 ・消毒や清掃について
身体拘束委員会		
日時	議題	内容
年4回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・目標について ・センサー利用について ・研修について 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待、身体拘束について知識を深めていくに決定 ・センサー利用者の洗い出し、必要性を随時検討 ・研修内容の決定
ボランティア委員会		
日時	議題	内容
年3回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中のイベントについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭 ・クリスマス会 ・敬老会
排泄委員会		
日時	議題	内容
年6回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・オムツ発注に関して ・委員会の役割 ・排泄物品の見直し ・コスト削減 ・研修について 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減を踏まえた、発注確認 ・各階入居者様に合った排泄物品の検討 ・排泄研修内容の確認、決定

口腔委員会		
日時	議題	内容
年4回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の活動計画 ・資質向上研修資料について ・口腔消毒について ・口腔物品の管理 ・口腔委員会勉強会について ・物品在庫確認 ・口腔委員引継ぎ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から口腔消毒日を各階毎週火曜日に実施 ・資料作成をし、資質向上研修を実施 ・在庫表の更新
事故対策委員会		
日時	議題	内容
年4回 実施 都度実施	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の反省と今年度の目標 ・センサーマット使用者について ・各階の事故対策について ・aamsがつかない時のセンサー作動確認 ・新しいセンサーについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な事故防止対策をする ・勉強会の実施 ・職員間で情報共有できるようにする ・どのセンサーを使用しているかの把握・在庫確認 ・aamsがつかない場合の研修を実施 ・大塚様の動きを把握するため、新しいセンサーの使用
褥瘡委員会		
日時	議題	内容
年4回 実施	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡委員会事業計画説明 ・ベッドマット等の使用状況と在庫確認 ・全利用者皮膚状況確認 ・施設内研修状況報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・各階委員にて、各階担当利用者様の確認を行う ・褥瘡予防の周知徹底 ・特に肌状況に注意と状態観察が必要な利用者様
感染症委員会		
日時	議題	内容
年2回実施 必要な時 随時	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策として月1回以上、または体調不良者が発生した際に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症についての研修随時実施 ・経管栄養、ゾーニング、防護服着脱の実施
防火管理委員会		
日時	議題	内容
年2回実施	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の計画 ・防災に対する研修、計画 ・BCP作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の防災訓練を計画し、地域の方防災普及公社などと連携 ・防災に対する知識を深めてもらうための研修と小型発電機の使用方法など実施

令和4年度 消防訓練

第1回目・・・令和4年9月28日実施 防災普及公社による「地震VR」「防災講和」「消火器取扱い」
「地域住民参加」

第2回目・・・令和5年2月7日実施 避難確保計画に基づく「避難経路確認」「職員参集」
「役割分担」「垂直避難」

令和4年度消防設備点検

- ・令和4年10月4日
- ・令和5年2月20日

令和2年度貯水槽・水質検査

令和4年8月26日 ロート・ルーターサービスにより実施

各部門の振り返り

生活相談員

生活面では、感染症対策に努める時とで施設内での感染を防止する事が出来た為、ご入居者様の健康維持が図れたと思います。その反面、広報誌の発行やLINEを含む通話の機会等にて情報を発信してまいりましたが、ご家族様との交流の機会が十分だったとは言えない状況でした。

稼働率については、居宅介護支援事業所等との連携を図る事により、堅調に推移した月もありましたが、年度の途中に入院者が同時に5名となったことも要因となり、令和4年度としては目標である96%を下回る見込みとなりました。

管理栄養士

- 令和4年度目標:①入居者様に適切な栄養管理をする
②安全な食事を提供する

目標に対しての計画:①日々のミールラウンドでの食事摂取量や食事形態が合っているかの確認をしました。体重の増減・血液データの確認・記録祖ひて対応が必要な時は各職種連携を図り形態の変更等を行いました。②衛生管理のため、毎月の厨房会議・日々の業務で「衛生マニュアル」の確認をし、個人の対応の指示を、調理指示書へ記載を徹底しました。評価としては、委員会や各種会議等で発信し、意見や状態の把握を確認し、入居者様の今の状態にあった食事形態に変更する事ができました。

看護部門

令和4年度目標:感染予防に努めると共に、感染症発生時を想定した対応を身に付ける
感染対策シュミレーション計画を年度前半に実施し、その後はゾーニングや防護服等・個室対応の際の物品の準備等繰り返し行ってきました。時間経過とともに対応策が少しずつ緩和されているが、今でも感染者は多く、また、高齢者施設でのクラスターも発生し続けているため、油断せず、今後も実施していきます。マニュアルの見直しが完全に出ていないため、情報収集して実施していきます。ご入居者様の日々の体調の変化に気を配り、急性疾患の早期発見・治療等に努めてきました。個々の情報(入所後～の全てのもの)のとりまとめもほぼ出来ており、把握しやすくしました。

介護部門

●1階フロアリーダー(1丁目ユニットリーダー)

全体的に、ADLの低下で身体介助の割合が増加、そのため、職員の負担も増えてきたため、ユニット会議等で、ご入居者様毎の把握・職員連携を強化し、報告・連絡・相談をしてきました。引き続きしっかり行って行きたいと思います。

また、感染症拡大防止のため、面会や会出の機会がほとんどなく、生活に閉塞感がありました。声掛けや室内レクリエーションの工夫が必要と感じた一年でした。

●2階フロアリーダー(3丁目ユニットリーダー)

令和4年度目標:2階職員お業務に対する姿勢・向上心を指導する。

職員個々に対して、声かけや、医療的ケアに関する指導を看護師と進めてきました。ご入居様様が少しでも快適に過ごせるよう、指導⇄評価を繰り返し実施してまいりました。今後、技術が定着するよう、繰り返し指導していきたいと思えます。

また、職員一人ひとりが抱えている、不安や問題点をユニット会議等で吸い上げ、資質向上や技術の向上を目指していきます。

●3階フロアリーダー(7丁目ユニットリーダー)

令和4年度目標:施設内研修の充実

計画的な人材育成(OJT)を活用し、基本的介護技術を指導し評価してまいりました。

フロアリーダー → ユニットリーダー → ユニット職員 → フロアリーダー → 評価

具体的な援助方法・不安・不明な事等が明確になり、介護の質・円滑な業務・時間のゆとり・腰痛予防等に繋がりました。

次年度も、引き続き繰り返し実施してまいります。

また、医療的ケアに関しても、看護師指導の下、OJTを実施し、知識向上に努めました。

●1階フロア(2丁目ユニットリーダー)

令和4年度目標:入居様それぞれの特性の介助が行えるよう努める

入居様とコミュニケーションを図り、入居様一人ひとりの特性をつかみ、対応するように心がけました。

実践していく中で、対応が難しく感じる時はありましたが、職員同士共有し、報連相で事故なく対応する事が出来ました。

今後も、入居様一人ひとりに合わせたケアや日常生活が過ごせていけるよう努めてまいりたいと思えます。

●2階フロア(5丁目ユニットリーダー)

令和4年度目標:業務の流れを早く覚える

ユニットの異動に伴い、入居様が気持ちよく過ごせるよう、ユニット業務の流れの把握に努めました。

また、入居様一人ひとりの特徴・性格を理解するため、職員同士、連携を保ち、不足を補い合い、事故なく業務を遂行する事ができました。

日々業務に追われ、コロナ禍で外出が出来ない分、室内で楽しく生活していただくための、努力に欠けてまいりました。

●2階フロア(6丁目ユニットリーダー)

令和4年度目標:リスク防止策を含めた処遇の再確認

処遇の見直しや、パットサイズ等再確認してまいりましたが、現行の業務の改善点は、その都度フロア会議等で話合っています。また、安全・安心を常に意識して業務することを全職員が再認識し、次年度も事故の内容徹底してまいります。

●3階フロア(8丁目ユニットリーダー)

令和4年度目標:入居様の体調管理の徹底

本年度は、入居様のADLの維持を目標に、フロア職員全員が少しの変化も見逃さず、他職種と連携を図り、早期発見を心掛けました。その結果、入院する入居様を最小限に抑えることができました。

また、リスクマネジメントに対する個々の理解を深めることにも注力してまいりましたが、今後も引き続き行なってまいります。

各委員会活動報告

給食委員会

令和4年度目標:「安全に食事を摂取し、食事を楽しむ」

入居者様の食事摂取量・形態を把握し、栄養状態の維持改善をしていくことを目標としてきました。安全に食事を取ることができるよう、入居者様の食事の様子を観察し、他職種の職員と話し、食事形態の変更などでより安全に食維持を召し上がれるようにしてきました。

食事を楽しめる面では、コロナ感染予防対策で、おやつバイキング・夏祭りのメニューなどで、日常とは違った食事の提供が難しかったが、ユニット毎の食レクなどで楽しんでいただきました。

防火委員会

令和4年度目標:「災害への意識を高める」

災害への意識を高めてもらえるよう、防災普及公社による防災講和や地震体験を、近隣住民への呼びかけをし本年度も実施してきました。

BPC策定も少しずつ進んでいます。

褥瘡委員会

目標:「全入居者様の褥瘡発症とその危険因子ゼロ」

上記目標に対して、委員会を初め、看護師と情報共有し、課題の洗い出しを行いました。

取り組みに対して

- 褥瘡委員との情報共有とハイリスク入居者様の把握と一層の連携が必要
 - 褥瘡発見の重要な要素である、医務・給食・入浴・排泄委員会との協力が更に必要
 - 褥瘡委員会として全職員にたいしての褥瘡ケアのノウハウの伝達が欠如していた
- 以上の反省点や必要事項など、更に話し合い、引き続き褥瘡ゼロを目指していきます。

排泄委員会

令和4年度目標:「排泄物品の管理を徹底する」

排泄委員として、入居者様へのトラブル防止のため、排泄状況を把握するよう、全職員へ周知してきました。新しく入所された、入居者様に対しては把握しきれない部分もあったので、しっかり対応していきたいと思います。入居者様一人ひとりに合った排泄物品を選び、コスト削減にも努力していきます。

入浴委員会

令和4年度目標:「安心・安全にリラックスできる入浴」

入浴時の安心・安全・清潔保持をモットーに、日々業務に取り組んできました。入居者様個人に合わせた、入浴方法など委員会で話し合いました。安全のための、浴室や機械浴槽の点検も職員全員に周知し、管理しました。

事故対策委員会

令和4年度目標:「事故防止の取り組み強化」

事故防止に繋がる、見守りに使用するセンサーの導入や導入時の使い方を指導することができた。
しかし、全体的に入居者様毎のセンサー導入の全体把握が不足していたため、次年度はその点を重点的に改善していきたいです。

口腔委員会

令和4年度目標:「

今年度力を入れた取り組みとして、ADL低下や理解力低下が見られる入居者様に対しての、口腔ケア時の使用物品変更による、誤嚥性肺炎の防止に努めた。また、委員会全体の改善点として、口腔物品の消毒のルール徹底や、物品管理の徹底強化を行いました。

また、職員向けに年2回の勉強会でも誤嚥性肺炎に対するケアを共有しました。

ボランティア委員会

本年度も、コロナ感染対策として、納涼祭やボランティアの受け入れを行えませんでした。

職員で協力し、施設内レクや食レクを行い、楽しんで頂きました。

次年度は、感染症の様子を見ながら、外気に触れて頂けるようなレクリエーションを考えていきたいです。

身体拘束委員会

今年度の目標は「身体拘束”ゼロ”の継続」

委員会では、各フロアで暴言暴力・介護拒否等、問題行動のある入居者様への対応をフロア会議や全体会議等で議題にあげ、対応の見直しをする事で、改善がみられ、内部研修では、スピーチロックや不適切なケアをなくす取りくみをしてきました。他施設の改善例等も参考にし、身体拘束「0」に取り組むことができました。

感染症委員会

目標「感染予防に努めると共に、感染症発生時を想定した対応を身に付ける」

新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザの流行警報も出ていたが、今年度は、職員数名が罹患したものの、施設内への持ち込みは1例だけに留まりました。各職員の日頃の感染症を持ち込まないという姿勢が良かったのだらうと思います。今後も必要な知識を提供できるよう、努力していきます。

環境衛生委員会

大雨・強風等に備えられるような、日々の環境整備を徹底しなければならないことを実感する年でした。
また、感染症対策で衛生物品の管理は常に行うようにしたいと思います。

感染症拡大防止のため、清掃や換気には気を配り、衛生を保つことができたと思います。
引き続き、衛生管理の徹底をしていきます。

令和4年度行事食について



メニューが豊富で、季節を感じられる行事食。(一例です)

令和4年度年間行事

月	イベント	内容
4月		各ユニットで食レク
5月・6月		各ユニットで食レク
7月・8月	納涼祭	各ユニット毎に食レクと催物(ゲーム等)
9月	敬老会	敬老の日を祝い、職員が計画したレクリエーションで楽しんで頂きました。
10月・11月		各ユニットで食レク
12月	クリスマス会	サンタの衣装を着た職員が、入居者様へプレゼントを渡しました。
1月	新年会他	催し物・食レク
2月	節分	豆まきを楽しみました。
3月	ひな祭り他	7段かざりの雛人形の前で写真撮影。その他食レクを楽しみました。

※ 外出レクが全くできなく、ほとんどが施設内レクリエーションとなってしまいました。

少しでも気分転換していただきたく、食レクやゲーム等で楽しんでいただきました。

※ 各月、お誕生日会を行いました。

ボランティアの紹介

今年度のボランティアは、新型コロナウイルス感染症対策のため、すべて中止。

	指導・検診	委員会・施設内研修
4月	健康診断結果指導・厨房職員検便	感染症対策委員会
5月	厨房職員検便	感染症対策委員会内部研修
6月	厨房職員検便	感染症対策委員会
7月	厨房職員検便	感染症対策委員会
8月	厨房職員検便	感染症対策委員会内部研修
9月	入居者様胸部レントゲン・介護職員健康診断・厨房検便	感染症対策委員会
10月	厨房職員検便・検診結果指導	感染症対策委員会第内部研修
11月	厨房職員検便・インフルエンザワクチン接種	感染症対策委員会
12月	厨房職員検便	感染症対策委員会第内部研修
1月	厨房職員検便	感染症対策委員会
2月	厨房職員検便	感染症対策委員会第内部研修
3月	全職員健康診断・厨房検便	感染症対策委員会

※ 看護師・衛生管理者で計画・指導を行いました。

早めの病院再受診等を本人と面談し、説明しました。生活習慣病予防に取り組んでいきたいと思っております。

※ PCR検査…月2回実施

※ PCR検査から週 2回の抗原検査に変わりました。

※ 熱発や風邪症状の職員・入居者様には抗原検査の徹底

研修場所	研修内容	参加職員	委員会
星久喜白山荘内	感染症に係る研修(コロナウィルス)	全職員	感染症対策
星久喜白山荘内	感染症に係る研修(ゾーニング)	全職員	感染症対策
星久喜白山荘内	感染症に係る研修(防護服着用の仕方)	全職員	感染症対策
星久喜白山荘内	感染症に係る研修(ゾーニング)	全職員	感染症対策
星久喜白山荘内	感染症に係る研修(消毒・換気について)	全職員	感染症対策
星久喜白山荘内	看取りについて	介護職	感染症対策
星久喜白山荘内	身体拘束に繋がる不適切ケアをなくす取りくみ	介護職	身体拘束
星久喜白山荘内	スピーチロックと心理的虐待(動画視聴)	全職員	身体拘束
星久喜白山荘内	高齢者虐待防止	介護職	身体拘束
星久喜白山荘内	排泄介助の基本	介護職	排泄
星久喜白山荘内		介護職	
星久喜白山荘内	誤嚥性肺炎の予防で大切な口腔ケア	介護職	口腔
星久喜白山荘内	介護者の口腔ケア手技	介護職	口腔
星久喜白山荘内	入浴介助マニュアルの作成・安全安心のサービス提供	介護職	入浴
星久喜白山荘内	安全で安心感を提供できる入浴方法を学ぶ	介護職	入浴
星久喜白山荘内	介護事故訴訟対策(事例)	介護職	事故対
星久喜白山荘内	転倒事故防止(骨粗鬆症について)	介護職	事故対
星久喜白山荘内	体位交換	介護職	褥瘡
星久喜白山荘内	褥瘡の発生原因と予防法・対処法	介護職	褥瘡
星久喜白山荘内	摂食嚥下と食事介助に関する研修	介護職	給食
星久喜白山荘内	脱水と水分・電解質管理に関する研修	介護職	給食
星久喜白山荘内	月1回感染症対策	全職員	感染症対策
星久喜白山荘内	経管栄養	介護職	感染症対策
星久喜白山荘内	ヒヤリハット・事故報告の検証(月1回)	全職員	安全対策
星久喜白山荘内			

※今年度については、感染症拡大防止に伴う研修を月1回のペースで実施し強化しました。